



The Y's MEN's CLUB of



もりおか



<VOL125.2018.5>

もりおかクラブ事務所：〒020-0804 盛岡市本町通3丁目1-1 Tel 019-623-1575 盛岡YMCA内  
盛岡YMCA HP <http://www.ymcajapan.org/morioka/> 検索エンジンワード「盛岡YMCA」

「主題」

国際会長	Henry Grindheim (NOR)
アジア地域会長	Tung Ming Hsiao (台湾)
東日本区理事	栗本 治郎 (熱海)
北東部長	鈴木 伊知郎 (宇都宮東)
もりおかクラブ会長	井上 修三

「ともに、光の中を歩もう」  
「ワイズ運動を尊重しよう」  
「広げようワイズの仲間」  
「距離に負けるな北東部、各クラブの個性を磨こう」  
「原点に戻って 20周年をめざそう！」

今月の聖句 マタイによる福音書 4章7節



「あなたの神である主を試してはならない。」

会長	井上 修三
副会長	三田 庸平
書記	濱塚 有史
会計	大関 靖二
担当主事	小川 嘉文
メネット	井上 優子

6月定例会のご案内

日時 平成30年6月9日 (第2土曜日) 18時30分  
場所 ジャーラン5F 2,000円  
担当主事交代式を行います。

第二例会 6月15日(第3金) 場所未定

井上会長巻頭挨拶



井上会長

EF(Endowment Fund)

国際ワイズダム発展のための特別基金。個人・クラブが記念すべき出来事・行事・慶弔などのおり、寄付金を国際協会に送金し積み立てる。基金評議会が管理し、その果実を運用する。US\$120以上の寄付の場合、寄付者名と記念事業等を国際が永久保管する「ゴールデンブック」に記帳される。

国際にはこの基金の推進委員会があり、東日本区では国際・交流事業主任がその推進を担当する。

個人的に笑える逸話があります。入会間もなく部長となり、会計は遠藤メンが担当をしておりました。「エンドウメントファンド？遠藤メン、寄付をしたのですか？」遠藤メンは「した覚えはないが、確かにエンドウと記載されている。したのかな？」勿論寄付者は判明したのですが、知らないとはこういうことなのです。(先輩諸氏申し 訳ございません。)

JEF(Japan East Y's Men's Fund)

東日本区ワイズ基金。東日本区ワイズ運動の継続的奉仕活、

動を支えるため、個人・クラブが記念すべき出来事、行事、慶弔事などのときの拠金が基になっている。寄付者氏名とその理由を「奉仕帳」に記載し永久保管される。

2017~2018のJEF運営委員会委員長は東京北クラブの村杉克己メンが務めておりましたが2018年3月に天に召されました。委員長としてのお働きは勿論ですが、物品部門では全ワイズメンがお世話になりました。心よりご冥福をお祈りいたします。ありがとうございました。

5月例会の報告

平成30年5月12日(土) ジャーランにて開催 井上、井上優子、大関、三田、根内、根内直美、長岡、村上、小川(敬称略)。ゲスト、押部 明德様(ぱんだ動物病院)、以上11名の参加で開催されました。

今夜の卓話は、ぱんだ動物病院の押部 明德様。初めての参加です。動物のお医者さんです。会員はペット大好きな人がそろっていますから、自慢のペットの話で大盛り上がりです。大関さんは愛犬の足の不具合が、薬で劇的な回復を見せた事、長岡は、つい最近隣の犬ですが急性膀胱炎でわずか3日で死んでしまった事など、ペットの話になるといとまがありません。「犬は飼い

主に媚びを売ってばかりいるけど、それがストレスになりませんか？」、「犬はご主人に無視されるのが一番ストレスが溜まります、かわいがってください」、「猫は、勝手に生きているようですが、飼い主をどう見ているのでしょうか？」、「猫は、個体にもよりますが甘えるときは犬よりもしつこく甘えてきます。かわいいものです。」本当にペットって心が癒されますよね。しかし、必ず寿命が来てお別れの時がきます。これがつらい、過去に何度もペットロス症候群に陥る入る経験をしています。そんなお話で前座のお話をいただきました。卓話は特集しております。



2018年5月、第一例会集合写真

## 動物にも東洋医学

押部 明德様 ぱんだ動物病院長

みなさん今晚は、押部と申します。今日は動物のお話をいたします、よろしく願いいたします。まず、中国のペット事情の話です。中国は目まぐるしく発展をしています。30年前は空が青く、犬は路地で老人と居る感じでしたが、現在高学歴、高収入の方が犬を飼うという状態ですね。特に独身女性がペットを飼っています。ペットの経済規模もどんどん拡大しています、動物病院も日本とほぼ同じ状態まで発展しています。大都市だけでなく地方都市にまで普及しております。食肉のお話の講演を依頼されて行ったとき犬味のラーメンが売られておりました、驚きましたね。獣医師は、西洋医学と東洋医学の両方あります。鍼灸や漢方薬と西洋医学の両方行っています。日本では明治維新後、西洋医学が主流になり、東洋医学は発展しませんでした。最近ですね東洋医学が光を浴びてきたのは、私は動物の治療に東洋医学を取り入れています。原因がはっきりわからない病気には東洋医学の治療が効果を発揮します。

次にオーストラリアですが、先進国の中では一番ペットをかわいがると言われております。40%の方々が犬を飼っているという事です。牧羊犬やキャトルドックなどの働く犬が多いです。ポー

ダーコリーは俊敏で運動能力に長けています。運動能力と耳の衰えで、8歳くらいで引退して余生を送りに入ります。楽な仕事の子羊を守るのです。もっと年をとると、家の中でくらしします。日本と違うのは、不治の病の場合安楽死を受け入れます。日本人はほとんど受け入れません。

長岡、「17年一緒に暮らした柴犬を、安楽死させた経験があります。ありがとう、もう苦しなくていいんだよ。」こんな別れを経験したあとはもうペットを飼う気にはなれません。

イスラム圏では豚を食べません。同じように犬も食べてはいけません。イランに行ったとき結構大きな都市でしたが犬がいませんでした。アンタッチャブルな動物なんだそうです。犬は飼わないのかと聞いたら、山の羊飼いが飼っていると言っていました。他民族国家で、他民族の文化が獣医の見る動物にも影響があります。

日本では、犬は昔と違うと思います。私たちが子供の頃は犬はもってきていましたし、番犬という仕事を持っていました。今の犬の仕事は、飼い主の心情を押し量り癒しを与えることです。気を使うのですから、分離不安を発症します。ご主人が病気になると犬が心配し、夫婦喧嘩をすると犬が仲裁します。利口な犬ほどストレスが溜まり病気になります。犬の役割は大きく変わっています。ペットは、寝たきりにさせない、認知症にさせないことが大事です。漢方薬の治療は坂道をころげるのを緩やかにするような治療です。

## もいおかクラフファンズ、富士宮やきそば販売始動！

昨年秋からファンの資金確保を目的に、やきそばの露店販売を企画していました。市内材木町の与市や八幡町のぽんぽこ市、盛岡城跡公園のさくらまつりなどで露店営業を企画しましたが、与市の出店は断られ、さくらまつりは露天商組合の登録が必要で断念。ぽんぽこ市が順調に出店を認められ、今回初めての出店営業ができました。

盛岡で一般に販売されているやきそばは、もやしや市販のやきそばソースを使用するため、出来上がりの湿度が多いものです。これがやきそばであるという認識でしたが、4月にみかわや相談役、齋藤氏に紹介していただいた、富士宮やきそばを食べてみました。このやきそばは、



本当に麺を焼いておりました。そしてその味わいたるや、なんとも言えない風味を醸し出しておりました。材料を聞くと、「肉カス」、「イカ」、そして富士宮市でしか手に入らない「蒸麺」、「ソース。」「これだ！」と思いました。「肉かす」、って何？豚肉からラードを絞ったあとの肉なのです。盛岡では食文化としてこのような「肉かす」は食べることがありません。この肉かすがものすごい風味をだしているのだと感じました。「このやきそばを盛岡で販売できたら差別化できるし、なにしろ美味しい。ぜったい売れる。」と思いました。

齋藤氏の尽力により、富士宮やきそば学会とコンタクトを取り、特別に修行させて貰える事になり、いざ富士宮へ。学会直営店で焼きそばの修行をさせてもらいました。

5月10日、観光客で賑わう学会直営店は開店と同時にお客様がとぎれません。外国人と日本人ほぼ同数でしょうか、B1グランプリで2年連続優勝の富士宮やきそばはそのブランド力と美味で、観光客や一般の食事客に絶大な人気があると肌で感じました。富士宮やきそば学会は、地域おこしの活動という事で市内から富士宮市を取り巻く一円で「富士宮やきそば」をブランド商品として販売しています。そのルールは厳格で、決してだれでも仕入れて売れるというものではないのです。今回、富士宮やきそばの販売をできる事になったのは、齋藤氏の人脈と私の情熱が認められたと思っております。富士宮やきそばのブランドを壊さないよう、盛岡の地で販売を続けていかなければなりません。

初めての露店出店となった、5月20日のぽんぽこ市ですが、緊張のあまり、何が何やらまったくよく解らない内に終わってしまいました。ゆとりなどというものは全くありませんでした。出店前に焼き台の炎を守る風よけを消防に「これではだめだ。」と指摘を受け、これは調理断念か、という大ピンチも拍車をかけ、何しろ「売れるだろうか？」という不安が大きかったです。ワイズの仲間、濱塚メン、村上ウィメン、井上ご夫妻、中原ご夫妻、高校生の及川君の協力を得て販売開始です。齋藤氏のロコミで来店してくれた仲間たち、一般のお客さま、用意した120食は完売できました。いろいろと反省点のてんこ盛りでしたが何とか初めて

の出店は終わりました。次回は、6月17日、同じぽんぽこ市です。どうぞワイズの方々、ご協力と出店運営にご協力ください。お願いいたします。第1回目という事で、初期投資にお金が掛かり利益は出たのですが少額でした。なんとかクラブに5千円、ユース委員会に5千円を入金します。もりおかクラブの財政が苦しいので、これで何とかして行きたいです。次回からは、飲み物、盛岡YMCAの雑貨なども合わせて販売していきます。みんなで力を合わせて頑張っていきましょう。



富士宮やきそば学会直営店前で、修行終了！

# 「ズリテン盛岡DAON」

## もりおかクラブの状況報告

5月の出席率	10/14	71 %	ゲスト1名	ビジター1名	メネット3名		
メーキャップ	2	名		5月切手	15 g	累計	268 g
5月のにこにこ	16,250	円	累計 40,500 円	5月プルタブ	0 g	累計	22,350 g
5月 石鹸	1,610	円	累計 1,610 円	りんご	0 円	累計	円
5月 献金		円		ファンド合計	34,410 円		

会費の納入をお願いいたします。岩手銀行 松園支店(店番号 082)普通口座 2145674

もりおかワイズメンズクラブ 会計 大関 靖二

5月のハッピーバースデー 5/27 長岡 五咲子メネット お誕生日おめでとうございます。

## 東日本大震災アーカイブス、2012年8月56号掲載 カンパネルラとカルボナード、「田野畑村の賢治」

三陸鉄道北リアス線には、田野畑駅(たのはた)と島越駅(しまのこし)があります。現在久慈駅から田野畑駅までの区間が部分開通して運行しております。田野畑駅の愛称は「カンパネルラ



田野畑」、島越駅の愛称は「カルボナード 島越」と言います。カンパネルラ田野畑は津波の災害から逃れ駅舎は無傷で残りましたが、カルボナード島越駅は駅の由来を刻んだ石碑だけが残り無残に破壊されてしまいました。このカンパネルラとカルボナードは共に

宮澤賢治の童話から引用したものです。「カンパネルラ」は銀河



カルボナード島越駅の現在、何もありません。

鉄道の夜の主人公ジョバンニの友達の名前です。主人公の名前ではなく友達の名前を使ったところが、また変わっています。「カルボナード」はグスコブドリの伝説の中に、「今日火山を噴火させて火山灰を降らせませす、肥料にして下さい。すでに肥料をまいたところは十分量を計算して下さい。」という一説があります。この火山島の名前が「カルボナード」なのです。

宮澤賢治由来の駅として多くの方々に愛されてきましたが、田

野畑地区、島越地区とも津波に飲み込まれ、集落は壊滅状態になりました。多くの方が亡くなりましたが、村はたくましく立ちあがりました。特に田野畑村漁業協同組合は全てのコンピュータを失い、まったく復興の道筋が見えませんでした、「ないものは仕方ない、それでも立ちあがる。」組合長のなみなみならぬ決意のもと、生き残った職員は漁協復活の第一歩を歩みだしま



こんなに穏やかな海が牙をむきました

した。港の整備、漁船で使用する製氷工場の復元、昨年秋から手掛けた復興の歩みは、今年確かな手ごたえとして活気を取

り戻し始めました。やっぱり田野畑村も「海との共存」の道を選んだのでした。賢治もきっと喜んでいるはず、カンパネルラは微笑んでいます。カルボナード火山は応援の火山灰を噴き上げて

いるでしょう。わたしがたずねたとき、カンパネルラには観光客が大型バスで来ていて、写真をとったり買い物をしたり一瞬の賑わいを見せておりました。復興の一助となります、よくおいで下さいました、ありがとうございます。カルボナードは何にもないので、訪れる人もいません、しかし漁業の中心は島越です、港に行ってみたら、中型漁船の船倉に氷を積み込んでいました、沖合の漁場に漁に行くのでしょうか、さんまが南下してきているとの情報があります。さんま漁に行くのでしょうか。たくさん魚を捕ってきて下さい、船倉いっぱい魚が復興への道です。近海のウニやアワビ漁は、今年はまだのようですが、全てが無くなった田野畑村の海も復興への明かりがだんだん明るくなってきています。みなさん応援して下さい。

## 乾いた初夏の風の中、もりおかかいうん神社を散策



本殿横の庭園の池

新緑の枝と葉の間を吹き抜ける風、全身で爽やかさを受け止めて、もりおかかいうん神社の庭園を散策しました。もともと榊山稲荷神社として認識していましたが、もりおかかいうん神社と言うのが正式名称のようです。

由緒 慶長二年(1597)、第二十六代南部信直公が盛岡城築城の際、祖先・新羅三郎義光公より崇敬されてきたさかきやま稲荷大明神(豊受之大神)を城内に祀りました。藩の命運をかけ盛岡の町造りの総鎮守として定めたのが、もりおかかいうん神社の始まりと伝えられます。明治四年(1871)、廃藩置県により廃社となります。(御神体は隠されました)昭和五年(1930)、隠されていた御神体を現在地に移遷、再建されました。



参道のもみじのトンネル

出迎えてくれたのは、本殿に続くもみじのトンネルです。春紅葉のもみじの下を本殿に向かって歩いた時、秋の本格的な紅葉シーズンの風景を想像いたしました。綺麗でしょうねえ。トンネルを抜けると、左に小ぶりの池があります。岸近くの島に観音様がこちらを見つめております。池にはたくさんの鯉が悠然と泳いでおります。黄色と紫のカキツバタとつつじの花が、空の青さを映す湖面と共に、目に飛び込んできました。目の前を横切

るのは、風に乗ったたんぽぽの綿毛。爽やかです。



金殖社の狐の狛犬

本殿に参拝した後、左へ進むとなにやら階段が坂の上まで続いております。100段くらいでしょうか、一気に登っていきます。小さな社が見えてきました。金殖神社(かねづくりじんじゃ)と言うそうです。もりおかクラブのファン造りが順調に行きますようにと、お願いしてきました。ここの社もお稲荷さんでした。



池の島の観音様

振り返ると敷地の庭園が一望に見渡せました。池の方から噴き上げてくる風もまた心地良いのです。階段を下りてまた左廻りで散策を続けると、お墓が見えてきました。南部藩のお殿様たちの墓所でした。一般の方々にも墓地を販売しているようですが、前建のお墓が立派すぎて、私などはとても手が出そうにもありません。池を一周してまた観音様のところに戻ってきます。噴水のように池に向かって水を噴き出しておりましたが、その音がまた耳にもこちよく響いております。たぶんこの池はトンボの聖地ではないでしょうか、夏になると大型のギンヤンマやオニヤンマが大挙して飛翔すると思います。夏にも来てみなければなりません。本殿の他に、小さな社が多く点在していてもっと下調べをしてから来るべきでした。次回にとっておきます。

## 編集後記

激動の4月から5月を過ぎました。富士宮やきそばの修行から出店の本番まで一気の展開を見せました。たぶん既存のやきそばでは120食の完売は無理だったような気がします。これからの展開が楽しみでなりません。コネクションを利用して毎週与市に出店できればと思っております。

五月晴れのかいうん神社はじつに爽やかでした。ユーミンの「緑の町に舞い降りて」を口ずさみながらの散策でした。もりおか

クラブの5月のテーマソングです。大関さん次はいっしょにね。



かんぱ〜い、第一例会です。